

高2・数学

休校中も毎日授業動画を配信し、提出課題をより丁寧に添削指導

【学校情報】 四国地区・公立・普通科・理数科・1学年360名／おもな進路状況 国公立大253名、うち難関国立大24名

新たな取り組みに至った背景 休校中でも何とか授業進度を保ちつつ、生徒との接点を大事にして、意欲を引き出すことを考えた。

具体的な取り組み

① 授業動画を見せて課題(問題演習)に取り組ませる

開校日には数学の授業が毎日あるので、休校中も毎日、オンライン配信で授業動画と課題に取り組ませた。1回の配信で先生が説明する時間は15~20分、それに生徒が課題に取り組む時間を加えてちょうど50分程度である。また、課題はオンライン共有ツールで提出させた。

② 休校中の提出課題をより丁寧に添削指導した

休校中は生徒と接することができない分、生徒が提出した課題をより丁寧に添削して返却しようと、他の先生とも話し合っただけで決めた。一人ひとりの解答をじっくり見てコメントを記入して返却するように心がけた。

③ 休校中の学習事項を丁寧に指導している

学校再開後は、休校中の学習事項を丁寧に説明して定着させることに注力している。具体的には、模試の対策(過去問)において、該当の分野の内容を実施するときに詳しく公式の確認などから行っている。

おもな成果

進度の大きな遅れはなかった

毎日動画配信できていたので、進度に関しては開校日と同等とすることができた。また、休校中に流した授業動画は現在も視聴可能にしており、再度動画を確認し、理解を深める生徒もいる。

数学の学習に対する安心感が芽生えた

生徒に一つの安心感が芽生え、数学の学習に対しての意識が変わってきたように思える。

生徒自ら前向きに学習に取り組むようになった

昨年度(1年次)は、どちらかという教師が課題等を与えて引っ張っていたのが、休校明けからは、生徒から課題を要求したり、自分で探してきた入試問題を解いて添削を申し出るなど、主体性が備わり、前向きに学習に取り組むようになった。また、質問してくる生徒も増えた。

今後の指導プラン

主体性が備わっている生徒が増えつつあるので、模試の問題解説や授業で行っている内容の入試問題の解説等を動画で配信し、意欲的な生徒の理解をより深める体制作りをしていきたい。